

決算審査報告

令和2年度 決算をチェック!



現地調査の様子

決算審査とは、予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているかなどについて、審査するものです。

令和2年度各会計の決算議案4件について、決算審査特別委員会を設置し、9月27日から9月29日までの3日間で関係箇所の現地調査及び書面審査を行い、12月定例会初日（11月30日）に、いずれも認定しました。

このページでは、委員会での審査の一部をお知らせします。

認定

わくわく健康ポイント事業における地域ポイントの効果は？

令和2年度は、市内で参加している約30店舗で、700人弱のユーザーが約413万円分のポイントを消費している。

店舗からは新規の顧客獲得につながったとの声があり、おおむね好評であったと捉えている。

CLT利用促進業務委託料の成果は？

CLTのPRをE-CLT株式会社に委託している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、国内でのPR活動はできなかったが、中国北京市の展示会でCLT建築物を展示し、PRした結果、中国の国有会社や国有大学などから、CLTの活用について相談を受けている。

認知機能チェックの実施状況は？

各総合福祉センターなど90か所で実施し、1次チェックを731名、2次チェックを16名が受けた結果、医療機関への受診勧奨を行ったかたはいなかった。

チェックを受けたかたからは、自身の認知機能が分かってよかった、継続してやってみたいなどの好意的な意見が寄せられた。

周桑病院の使用されていない精神科病棟を新型コロナウイルス感染症の病床として利用する考えは？

国庫補助金を活用した施設であり、他用途の利用については県及び所管の中国四国厚生局に確認する必要がある。

また、現在のところ、県が病床確保を行っていることから、コロナ病床としての利用は検討していない。